

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)広島市南区的場町1丁目ホテル計画 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						3.2
Q1 室内環境			0.40	-	-	3.2
1 音環境		2.6	0.15	2.9	1.00	2.7
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音		3.0	0.40	2.8	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境		3.2	0.35	3.0	1.00	3.1
2.1 室温制御		3.5	0.50	3.8	0.50	
1 室温	すぐれた日射遮蔽性能および断熱性能を有する。	3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能		5.0	0.25	5.0	0.43	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.0	0.25	3.3	1.00	3.2
3.1 屋光利用		4.2	0.30	4.2	0.30	
1 屋光率	屋光率(共用)=10.55%屋光率(専用)=2.32%	5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口		-	-	-	-	
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策		2.0	0.30	3.0	0.30	
1 屋光制御		2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.5	0.25	3.6	1.00	3.5
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	仕上材(下地、接着剤、家具、造作、面材等)はF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御	喫煙ルームが設置されている	3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.1
1 機能性		3.9	0.40	3.2	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	3.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	0.50	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観	天井高=2.4m	-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画	空間全体のコンセプトが明確である	5.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計	維持管理が大きく異なる仕上り材を接近させていない	4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保	維持管理作業に配慮している	4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上り材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上り材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房排気ダクトはガルバリウム鋼板を採用	4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用。	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり		-	-	3.0	0.50	
1	階高のゆとり	-	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	-	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		良好な景観を形成している	4.0	0.40	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.4
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.82	4.8	0.20	-	4.8
2 自然エネルギー利用		ハイサイドライトを利用	4.0	0.10	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.58	5.0	0.50	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	
集合住宅の評価			-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4
1.1 節水		節水型便器を採用	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		再生クラッシュラン、押出法ポリスチレンフォーム、東リ塩ビタイル	5.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		ECP樹脂塗装仕上げ、OAフロア採用	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.6	0.20	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		ベンリダインNEWサンゲツ糊を採用	4.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号を採用	4.0	0.50	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO ₂ =60%	4.4	0.33	-	4.4
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	
2	振動		3.0	0.50	-	
3	悪臭		-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	